



s u b r o o m n e t w o r k

もし家を借りる時、もれなくもうひと部屋余分に付属してきたら、あなたはどう使いますか？

subroom network は、余分なひと部屋を SNS で共有する仕組み。

ひとつのマンションの所有が、都市の所有へと拡張していく。

scenario_0

contract “subroom network”

僕は最近話題の subroom network（以下 sn）対応マンションに契約することを決めた。

sn 対応のマンションに契約すれば、都市に点在する他の sn 対応マンションの subroom を利用することができるという。

subroom は原則ひとつの物件に対してひとつ付属する文字通り”予備の部屋”だ。

それはまさに日本古来の“はなれ”のような存在に思えた。

管理は基本的にそこの住人が行い、sn 対応マンションの所有者は契約後 sn 会員となることで、SNS を介して必要なときに近くの sn を利用することができるという。

早速僕も、sn 会員に登録してみた。

scenario_1

【ex. 1】near SAPPORO STATION

今日は仕事で残業して終電を逃してしまった。

自宅は札幌ドームのすぐ近くなので、ここからタクシーを呼んで帰るのは、新人の僕には少し懐が痛い。

職場は札幌駅のすぐ側なので、このあたりで朝まで仮眠を取れたらいいんだけど…

そこで僕は sn を使ってみることにした。

スマートフォンで SNS を開く。GPS 機能を使えばすぐに最寄りの sn が見つかった。

事前に連絡を取って訪問すると、40 代くらいの一人暮らしのサラリーマンが出てきた。彼は単身赴任らしい。snのおかげで札幌の人とも随分親しくなれたという。

scenario_2

【ex. 2】near SUSUKINO

今日は古い友人と飲みに行った。

会話が盛り上がってつい時間が経つのを忘れてしまい、またも終電を逃してしまった。ここはすすきのの近くだから、この辺に sn はないかな？

検索をかけるとすぐにそれは見つかった。

玄関を開けると、出てきたのは優しい老夫婦だった。

二人は老後の楽しみとして、sn をはじめたらしい。

新しい仕組みに最初は戸惑いもあったが、訪問してきてくれる人はみな SNS を介しているので信頼できるし、なにより親切にしてくれるという。僕も家事を手伝ってあげた。

scenario_3

【ex. 3】near SAPPORO DOME

今日は札幌ドームでサッカー日本代表戦がある。

札幌ドームは自宅から歩いて5分のところにあるので、大きな試合があるときはその熱気がここまで伝わってくるほどだ。今日も友人たちが応援に遊びに来ている。

試合後、ふとスマートフォンを見ると新規メッセージが届いている。sn の使用依頼だ。―「私は sn 会員 10569 の者です。先ほどまで札幌ドームで試合観戦をしていたのですが、まだ余韻に浸っていたくて。もしよろしければ一緒に祝杯をあげませんか？あなたのプロフィールにサッカーが好きだと書いてあったもので連絡しました。」―興奮冷めやらぬ僕らは、もちろん二つ返事で OK した。その夜は楽しい宴となった。